



セLP宮前こばと [生活介護：定員46名]

〒216-0006 川崎市宮前区宮前平1-8-12
TEL : 044-855-9455 / FAX : 044-855-9454
E-mail : f-minorikai@tobe-kobato.or.jp

分場 陽だまり

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹1-4-3
TEL / FAX : 044-852-4554



宮前区障がい福祉拠点施設

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹6-10-33
まじわーる宮前内

あーる工房 [生活介護：定員60名]

TEL : 044-855-0780 / FAX : 044-855-0781

こころん [短期入所：定員4名]

たのっしも [日中一時支援]

(障害児・者一時預かり) 事業：定員5名]

TEL : 044-855-2011 / FAX : 044-855-0781

生活支援センター きまっしー

[川崎市障害者生活支援・地域交流事業
計画相談/地域移行支援/地域定着支援]
TEL : 044-855-1011 / FAX : 044-855-1022



厨房じんべい [生活介護：定員29名]

〒216-0011 川崎市宮前区犬蔵1-34-9
TEL : 044-872-8370 / FAX : 044-872-8371

分場 工房じんべい

〒216-0015 川崎市宮前区初山1-37-56
TEL/FAX : 044-975-0259



地域相談支援センター ポポラス

[川崎市相談支援委託事業(地域型)/一般相談
地域移行支援/障害児相談支援]

〒216-0033 川崎市宮前区宮崎2-13-35
モア・宮崎101号室
TEL : 044-870-5236 / FAX : 044-870-5237



グループホーム 事務所

〒216-0006 川崎市宮前区宮前平1-8-11
サザンクロス宮前102号室
TEL : 044-948-8381

グループホーム 宮前こばとの家

[共同生活援助(包括型)：定員53名]

グループホーム 宮前こばとの家

〒216-0011 川崎市宮前区犬蔵

グループホーム 第2宮前こばとの家

〒216-0011 川崎市宮前区犬蔵

グループホーム 高山こばとの家

〒216-0022 川崎市宮前区平

グループホーム 第2高山こばとの家

〒216-0022 川崎市宮前区平

グループホーム 五所塚こばとの家

〒216-0021 川崎市宮前区五所塚

グループホーム 菅生こばとの家

〒216-0015 川崎市宮前区菅生

グループホーム 第2宮崎こばとの家

〒216-0033 川崎市宮前区宮崎

グループホーム 馬絹こばとの家

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹

グループホーム 第2馬絹こばとの家

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹

グループホーム 第3馬絹こばとの家

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹

グループホーム 宮崎こばとの家

〒216-0033 川崎市宮前区宮崎

法人30周年の集いに寄せて



社会福祉法人みのり会
理事長 宮澤 明

コロナやインフルエンザの感染症が猛威を振るっています。
皆様にはくれぐれもご自愛ください。

さて、みのり会では、本年6月24日に宮前市民館大ホールで30周年の集いを開催いたしました。多くの皆さまにご尽力いただき、障害者地域作業所の出発から、現在では生活介護や相談支援事業等7事業所、グループホームは11カ所、スタッフも150名余りと飛躍することができました。

事業所の環境整備では、老朽化した「厨房じんべい 分場 工房じんべい」の移転の準備を進め、昨年9月に宮前区初山の森閑とした住宅街の土地建物1棟を購入、本年6月改修工事を完了させ移転を完了することができました。また、本年3月1日には、みのり会11カ所目のグループホーム「宮崎こばとの家」(定員4名)を開所することもできました。

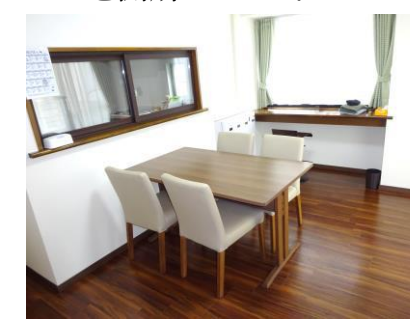
新たな事業展開が可能となったのも、地域の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

10年後、20年後も利用者様や、家族会の皆様の願いに応えられるみのり会として前進していきたいと決意を新たにしています。

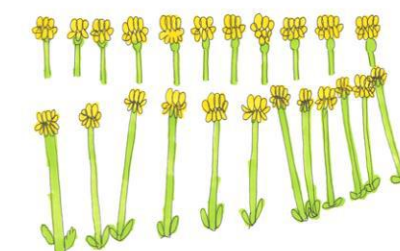
どうぞ、今後ともご協力、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

みのり会 令和4年2大ニュース!

みのり会で11カ所目となるグループホームを開所しました!



グループホーム宮崎こばとの家



「ポコラート全国公募展vol.10」
にて荒木愛美さんがOJUN賞
(審査員賞)を受賞しました!

令和2年から世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染症は、みのり会の各事業所においても猛威を振るいました。法人内のすべての事業所が「感染者を出さない、持ち込まない、クラスターを引き起こさない」対策に緊張の日々を費やしました。

- 川崎市の令和3年度障害福祉サービス事業所等集団指導において示された、
- ① 「**感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する取組の義務**」は、法人内事業所を2エリアに分けて、検討委員会を開催し「感染症の予防及びまん延の防止のための指針」の検討を続けてきました。感染症対策研修会、訓練を実施しました。
 - ② 「**非常災害時を想定した避難訓練へ地域住民の参加が努力義務**」については、2エリアでの災害時に関するBCP策定委員会で検討を継続しています。
 - ③ 「**業務継続に向けた計画などの策定や研修・訓練等の実施の義務化**」は、法人内事業所を2エリアに分けて、BCP策定委員会を開催しました
 - ④ 「**身体拘束等の適正化**」のため、「身体拘束等適正化対策検討委員会設置規程」に基づき、「虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会」の開催を宮前エリアは3回、まじわーる宮前エリアは4回開催しました。
 - ⑤ 「**障害者虐待防止の更なる推進**」のため、「虐待防止・身体拘束適正化対策検討委員会」を宮前エリアは年3回、まじわーる宮前エリアは4回開催しました。「法人虐待防止委員会」を令和5年3月に開催しました。各事業所とも虐待防止・身体拘束廃止の研修会を実施しました。
 - ⑥ 「**ハラスメント対策の強化**」については、法人方針の「ハラスメントは許しません！！」について、全職員へ周知徹底を行いました。社会保険労務士を講師とした法人研修会「就業規則を知ろう！！」においてパワハラ防止法について、全職員が学びました。
 - ⑦ 「**重要事項の備え付け**」については、重要事項説明書の掲示及びファイルの備え付けの完備に努めました。

「**法人設立30周年記念企画**」として「30周年記念誌」の作成準備会はコロナ対策に追われ、開催できなかったため、次年度に引継ぎ実施する予定です。

「**事業運営の透明性の向上**」については、みのり会ホームページにおいて組織図、定款、決算報告、現況報告、役員名簿、役員報酬規程等情報の開示を行いました。

「**地域における公益的な取り組みを実施する責務**」は、川崎市社会福祉協議会の「社会福祉法人・施設による地域貢献支援事業（地域生活支援SOSかわさき事業）」に加盟し、生活困窮世帯への食糧支援に取り組みました。

令和 5年 3月31日 現在

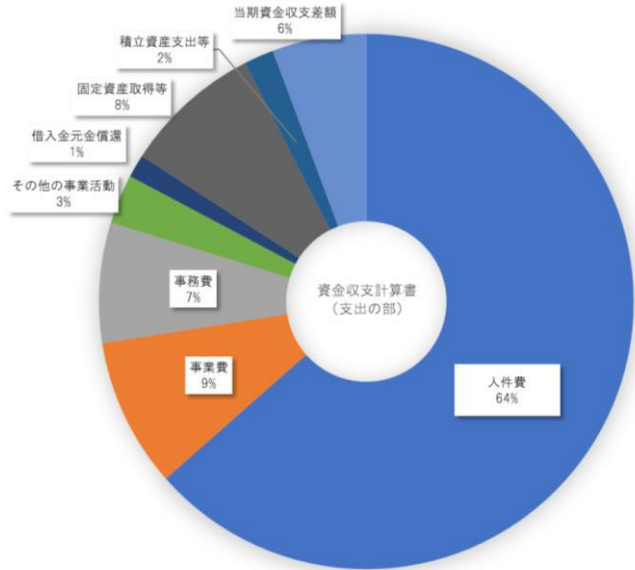
(単位：千円)

貸借対照表科目	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	—	—	341,534
事業未収金	—	—	172,638
未収補助金	—	—	8,090
貯蔵品	—	—	1,786
商品・製品	—	—	853
仕掛品	—	—	31
原材料	—	—	533
立替金	—	—	1
前払費用	—	—	4,515
流動資産合計			529,984
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	—	—	120,400
建物	1,331,528	287,676	1,017,273
基本財産合計			1,137,674
(2) その他の固定資産			
土地	—	—	0
建物	192,350	88,120	104,229
機械及び装置	47,174	45,874	1,300
車両運搬具	50,748	44,503	6,245
器具及び備品	76,946	64,061	12,885
建設仮勘定	—	—	10,882
権利	2,349	1,677	671
ソフトウェア	7,049	7,049	0
退職給付引当資産	—	—	48,529
その他の積立資産	—	—	263,144
預託金・出資金	—	—	1,201
差入保証金	—	—	6,550
長期前払費用	—	—	621
その他の固定資産合計			455,060
固定資産合計			1,592,735
資産合計			2,122,719
II 負債の部			
1 流動負債			
事業未払金	—	—	36,068
1年以内返済予定設備資金借入金	—	—	13,616
賞与引当金	—	—	34,172
流動負債合計			83,857
2 固定負債			
設備資金借入金	—	—	50,942
退職給付引当金	—	—	48,529
固定負債合計			99,471
負債合計			183,328
差引純資産			1,939,390

令和4年度 社会福祉法人みのり会 決算報告

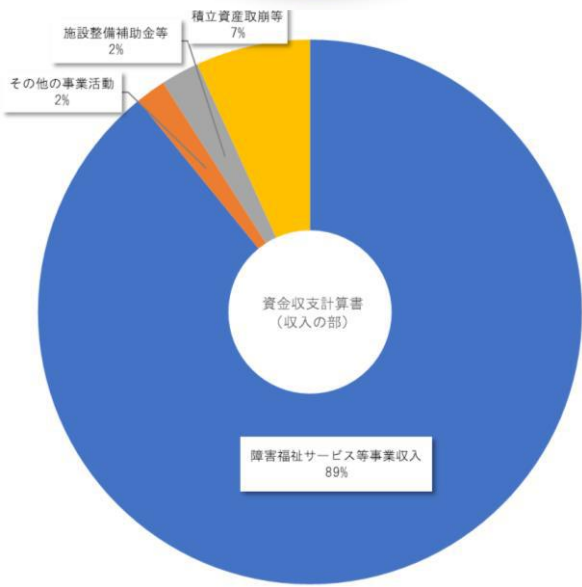
資金収支計算書

借方		貸方	
科目	決算	科目	決算
事業活動支出	808,588	事業活動収入	888,398
施設整備等支出	95,359	施設整備等収入	22,238
その他の活動支出	17,553	その他の活動収入	66,466
当期資金収支差額	55,601		
合計	977,103	合計	977,103



事業活動計算書

勘定科目	決算	前年度
サービス活動収益	873,151	837,210
サービス活動費用	823,286	780,511
サービス活動増減差額	49,865	56,699
サービス活動外収益	15,248	17,811
サービス活動外費用	7,156	7,432
サービス活動外増減差額	8,092	10,379
経常増減差額	57,957	67,078
特別収益	22,809	13,982
特別費用	27,712	17,646
特別増減差額	-4,902	-3,664
当期活動増減差額	53,054	63,413



貸借対照表

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	529,984	458,409	71,575	流動負債	83,857	66,162	17,695
現金預金	341,534	316,383	25,151	固定負債	99,471	107,940	-8,469
事業未収金等	188,450	142,025	46,425	負債の部合計	183,328	174,103	9,225
固定資産	1,592,735	1,613,287	-20,552	純資産の部			
基本財産	1,137,674	1,112,952	24,722	基本金	61,535	61,535	-
土地	120,400	69,099	51,301	国庫補助金等特別積立金	916,661	927,918	-11,257
建物	1,017,273	1,043,852	-26,579	その他の積立金	263,144	321,944	-58,800
その他の固定資産	455,060	500,335	-45,275	次期繰越活動増減差額	698,050	586,195	111,855
固定資産	136,215	128,242	7,973	(うち当期活動増減差額)	53,054	63,413	-10,359
退職給付引当資産	48,529	43,382	5,147				-
その他の積立資産	263,144	321,944	-58,800				-
差入保証金等	7,172	6,765	407				-
資産の部合計	2,122,719	2,071,696	51,023	純資産の部合計	1,939,390	1,897,592	41,798
				負債・純資産の部合計	2,122,719	2,071,696	51,023

(令和4年4月1日～令和5年3月31日) 単位:千円

働き方改革関連法に基づき「みのり会給与規程」、「準職員就業規則」の見直しを行いました。

令和5年10月をもって契約満了となる「**工房じんべい**」の**新たな建物確保**について、初山1丁目の土地面積200.99㎡、建物面積122.56㎡の木造2階建て家屋1棟を9月30日に購入しました。令和5年度6月1日移転完了を目指し、既存のバルコニーの撤去、トイレの増築等実施しました。

事業拡大では「**共同生活援助(グループホーム)**」設立に向け宮前区宮崎73-20の木造一戸建て住宅を改装し、男性4名定員の「グループホーム宮崎こぼとの家」を令和5年3月1日に開所することができました。

令和4年度 苦情解決第三者委員相談状況

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第三者委員名	齋藤委員	大塚委員	齋藤委員	大塚委員	齋藤委員	大塚委員	齋藤委員	大塚委員	齋藤委員	大塚委員	齋藤委員	大塚委員	
セルフ宮前こぼと/陽だまり	2	5	3	3	2	3	6	7	2	4	5	7	52
厨房じんべい/工房じんべい	9	0	10	0	4	0	10	6	10	3	0	4	53
GH宮前こぼとの家	2	3	2	6	2	3	0	0	5	0	1	0	24
地域相談支援センターボラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	13	8	15	9	8	6	16	13	17	7	6	11	129

※障施協協力委員訪問 10月相談者3名。

	飛田委員	布施委員	飛田委員	布施委員	飛田委員	布施委員	飛田委員	布施委員	飛田委員	布施委員	飛田委員	布施委員	合計
あー工房	15	16	15	11	中止	11	19	15	16	12	16	16	162
短期入所こころん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日中一時支援たのっしも	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援センターきまっしー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	15	16	15	11	0	11	19	15	16	12	16	16	162

※障害施設事業協会大笠協力員 6月相談者7名、11月4名。

令和4年度 事故報告

事故報告は服薬関係が18件、利用者様の破壊、他害等、破壊等が8件、職員の怪我8件が主な内容です。川崎市障害施設指導課への事故報告はコロナ感染症、熱中症、利用者様の転倒、痣、個人情報流失の11件でした。

【事故発生報告】													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
セルフ宮前こぼと/陽だまり	1	1	2							2	1	2	9
厨房じんべい/工房じんべい		1	1		3		1			2	4	2	14
あー工房	3	1		2	1		1	1		1	2		12
本部			1	1									2
グループホーム	3			1	2		2	2				3	13
地域相談支援センターボラス													
短期入所 こころん			1		2								
日中一時支援 たのっしも													
生活支援センターきまっしー													
合 計	7	3	5	4	8		4	3		5	7	7	53



令和4年度 セルプ宮前こぼと・分場陽だまり 事業報告

令和5年3月31日現在、利用定員・現員は46名（セルプ宮前こぼと37名、分場9名）でした。平均年齢はセルプ宮前こぼとは40.75歳、分場 陽だまりは57歳になりました。**陽だまり**は、歩行障害も顕著となっている方もおり、転倒、骨折などが起きないように十分に注意を払って活動をすすめました。また、**新型コロナウイルス等感染症予防**のため、細心の注意を払いました。「**感染症、食中毒予防の研修会・訓練**」を看護師が講師となり実施しました。

利用者様の健康管理は、整形外科医師、作業療法士に来所頂き、利用者様や職員の相談を受けていただき、また、健康診断年2回、コロナウイルスワクチンの4回目接種、インフルエンザ予防接種をご希望者に実施しました。週1回歯科医師に来所頂き虫歯・歯周病等の予防に取り組み、耳鼻科検診、眼科検診を年1回実施しました。看護師を中心に疾病の予防、早期発見、早期治療に努めました。

行事では、コロナ感染状況を見極めながら、**日帰り遠足**を実施しましたが、コロナ感染増大で中止となったグループもありました。音楽や絵画、習字の活動もコロナ感染防止策を取って小グループで行いました。**生産活動**では、作業の確保、適度な作業量の調整、作業環境の整備を行い、無理のない範囲で作業に取り組んでいただきました。

給食は、㈱ニチダンに委託継続しました。食材料費の高騰により9月より給食食材料費1食330円を350円に変更しました。お誕生日のリクエストメニューは大好評でした。

防災対策として、4月には防災備品の自主点検、8月、11月、2月に総合防災訓練（避難・通報・消火）を実施しました。

セルプ宮前こぼとは**築30年目**のため施設内設備や備品の老朽化、破損等を発見次第、利用者様にご不便をおかけしないよう至急の改修、修繕を行いました。

高齢者が多くお住いの**近隣への貢献事業**として、職員による**こども公園の清掃作業**を毎週水曜日夕方30分程実施しました。こども110番のステッカーの貼り出しも継続しました。

グループホームのバックアップ事業所として、緊急事態や急な疾病のあった際には通院同行を行いました。

利用者様が「**みのり会苦情解決に関する規則**」による第三者委員への相談がしやすくなるような環境の確保に努めました。「**人権擁護研修会**」にはほぼ全職員が参加しました。



日帰り遠足



音楽活動

令和4年度 絵画 事業報告

絵画に取り組む利用者様が増え、法人全体で80名程度の方が参加されています。各事業所ごとに、利用者様の興味や好み、テーマに合った画材や技法を提案し、粘土や工作など利用者様の特性を生かす表現方法も追求しました。その他大きな作品や立体作品、季節感を感じる事が出来る作品制作も行いました。

毎年応募している「ポコラート全国公募Vol.10」に法人内から、9名の方が入選し、あーる工房の荒木愛美さんが入賞しました。12月には「ポコラート全国公募vol.10 受賞者展」が入賞作品を一堂に集めて展示されました。開催初日には受賞者が招待され、アーティストトークが行われました。荒木さんが何を思っただけで描いたかや制作秘話を自信をもって堂々と話していたのが印象的でした。

日頃制作している作品は、宮前区役所、近隣の病院、信用金庫へ展示しました。新たに川崎市文化財団よりご紹介頂き、川崎市生涯学習プラザ（武蔵小杉）、川崎市青少年の家（宮崎台）で展示させていただきました。

7月にはNPO法人言の葉が主催するグループ展「わたしを伝える展覧会」（会場：ミューザ川崎）にも参加し、作品を活かした自主製品も販売させていただきました。

障施協と川崎市文化財団が共同で立ち上げたパラアート推進事業に協力し、「手をつなぐフェスティバル」「カラースかわさき2022」に企画・参加しました。「手をつなぐフェスティバル」では、他法人からも作品を募り、とどろきアリーナ玄関前、青空のもと展示。通りがかりの方が興味をもって足を止め、来場者数アップに貢献することができました。

「カラースかわさき2022」には立ち上げ当初から参加しており、15名が出展しました。この展覧会は入札制で作品の購入が可能で、今回は2名の作品に入札がありました。入札者様に連絡を取ると、作品を大層気に入り購入に至ったと、お声を頂きました。

昨年に引き続き、バスケットボールチームの川崎ブレイブサンダース様より選手の肖像画制作依頼を頂き、13名が参加しました。完成した作品は、試合の選手紹介の際、大型ビジョンに放映されました。

それぞれの作品展やカレンダーの作品などは、毎月絵画会議を実施し、その中で絵画講師、絵画支援員で相談して、各事業所より選出しています。令和5年度こそは「アートフェスタ（作品展示即売会）」の開催を目指しています。



カラースかわさき2022



ブレイブサンダース



ポコラート全国公募受賞者展

令和4年度 グループホーム宮前こぼとの家 事業報告



令和5年3月31日現在、11カ所のグループホーム住居に定員53名・現員53名（男性35人・女性18人）の方々がご利用されました。

3月1日、宮前区宮崎の一戸建て住宅を改装し「グループホーム宮崎こぼとの家」（定員4名）を開所しました。建築基準法や消防法の改正、「川崎市障害者グループホーム新築・改修事業補助金」の変更等もあり、既存の建物を改修するにはかなりのハードルがありました。改修に係る費用は消防設備、改修工事など含め1,350万円程、その内川崎市より800万円の補助金をいただきました。

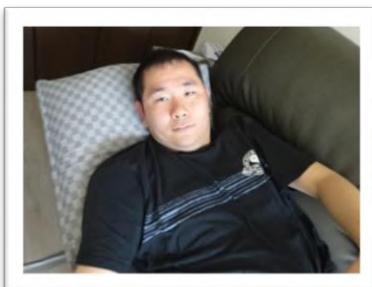
夕食の調理をあーる工房厨房を利用しての業者委託を検討し、令和5年2月1日より業者との契約が完了しました。配達、セルプ宮前こぼとと厨房じんべいの送迎車両を使用し担っていただきました。

重度化、高齢化により令和4年度通院支援は883回、1ヶ月平均73.6回に上りました。コロナ感染症について職員や利用者様に感染者が出たホームは、濃厚接触者となり濃厚接触者待機期間をホームで過ごしました。限定した職員で24時間対応していかなければならず、職員配置に苦慮しました。**感染を想定した研修を実施**するとともに、感染症防止のための各種備品の確保と保管に努めました。**業務継続に向けた計画(BCP)の策定準備委員会**を設置しセルプ宮前こぼとと厨房じんべいと協力体制を構築し「BCP策定委員会」を開催しました。

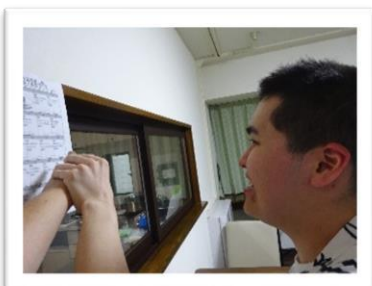
グループホームは一人職場となることが多いため、**身体拘束の適正化や虐待防止について研修、ハラスメントに対する研修**を行いました。

消火・避難、通報訓練を各ホームで実施し、震災・防火安全対策に万全を期すよう徹底を図りました。

事故報告・ひやり報告について、事故報告は13件、うち服薬に関する報告が6件、職員の怪我が3件、利用者様の一時行方不明1件がありました。ひやり体験報告は、内服薬に関するものが9件、利用者様の転倒など3件、他害行為等3件の報告がありました。



GH宮崎こぼとの家が
OPENしました！



令和4年度 厨房じんべい・分場工房じんべい 事業報告



令和4年度もコロナウィルスを意識しての運営となり、利用者様からも「コロナだからね」と口にされる方もいらっしゃいました。

そのような中でも4月より1名の方を特別支援学校より受け入れすることができました。令和4年度中に還暦を迎える方、20歳を迎える方、日帰り外出などもその都度できる形を考えて企画を行い、実施することができました。

日々の生活が制限をされる中で、感染拡大防止のために、一時的に通所を控える方もいらっしゃいました。久しぶりに通所再開した日には笑顔が見られ、ご家族から「じんべいに行ける日を心待ちにしていたんです。」とのお言葉をいただき、改めて利用者様にとっての施設運営の重要性を再認識する形となりました。

コロナ以降、地域の方々とのかかわりも少なくなりました。そんな中、厨房じんべいが所属する向丘地区 障がい児（者）福祉委員会から「障がいの理解」について地域の方々向けにお話をしてほしいとのお話がありました。管理者と利用者様2名で参加し、利用者様はご自身の日々の活動の様子に参加された40名程度の方へお話しました。皆様からも評価をしていただき、障害への理解を深めていただけるとともに厨房じんべいを知っていただける良い機会になりました。

今後も利用者様にとって通所を楽しみにしていただけるような施設となれるよう、事業に対しても地域の方々からご理解いただけるような事業所運営をしていきたいと思っています。



令和4年度 生活介護 あーる工房 事業報告



川崎市の特別支援学校等卒業生対策に伴う事業として整備され令和4年度は新たに2名の利用者様を受入れ、定員60名、現員62名となりました。新型コロナウイルスの影響で宿泊旅行や法人内や地域のイベントが中止となっているため、施設内の行事（入所を祝う会、夏まつり、ハロウィンパーティー・秋まつり、成人を祝う会、節分）を充実させて行いました。行事ごとに担当職員、利用者様の実行委員を選出し、企画・運営を行いました。

また、毎月定例で行っている活動には、絵画、卓球・手話ダンス、ヨガ、音楽療育があります。

絵画は、毎週火曜日に行い、講師は月1回来所されています。参加する利用者様一人ひとりの特性に合わせたテーマや画材を提案し、楽しみながら継続して自己表現できるよう支援しています。卓球は、月2回程度行い、身体を動かす機会を作り、また球技を楽しむことを目的にし、ヨガは、月1回講師を招いて自分の身体を意識し、心身のバランスを整えることを目的に支援しています。偶数月の第1.3木曜日には、社会福祉法人なごみ福祉会の講師をお招きして「でんでん虫音楽療育」を実施しています。音楽に合わせて、身体や声、楽器で表現をして、楽しい時間や楽しい経験を共有しています。

令和4年度 短期入所こころん 事業報告

短期入所こころんは定員4名の在宅でお過ごしの方に短期間の入所支援を提供してきました。利用希望者の増加に伴い、9月より予約方法を変更しました。月初の平日3日間に利用希望のみを伺い、利用決定しています。利用希望も複数伺うことでより多くの利用者様の利用希望に応えられるようになりました。

また、9月利用分より給食食材費の値上げも実施しました。契約者様に重要事項説明書の変更について説明し、同意を得ています。新規契約者も増えてきましたが、グループホーム等への入所による契約終了者もあり、契約者は90名前後で推移しています。



令和4年度 日中一時支援事業たのっしも 事業報告

川崎市の日中一時支援(障害児者一時預かり)事業の要綱に基づき、定員5名で夕方の支援を行ってきました。季節に合った創作的な活動の他バランスボールやボール投げ等の体を動かす活動、送迎サービス・排泄支援、おやつ提供希望者には夕食の提供を行っています。

感染状況を踏まえ、買物等の外出の機会を増やしてきました。また活動内容に利用者様のリクエストを取り入れるなど小集団ならではの活動を行っています。しかし、事業規模が小さく多くの要望には応えきれないことや人的な体制も脆弱なため、事業形態の変更を検討しています。

令和4年度 地域相談支援センターポポラス 事業報告

ポポラスは、常勤職員2名(女性1名、男性1名)と非常勤職員男性1名で、日々の業務を行っています。

担当地域にお住まいであれば、手帳をお持ちでなくてもご相談いただける機関となっており、様々な問題を一緒に考え、ご相談いただいた方はもちろん、ご家族が少しでも気持ちが楽に明るくなれるようにと、心がけております。

一番多い相談は、就労先や通所先を探して欲しい、グループホームを探している、というご相談です。80-50問題も多く、それまで家族としか関わりのなかった方が介護者の傷病により生活が送れなくなってしまう、という緊急介入が必要な事も少なくありません。

いずれのご相談も魔法を使ってすぐに解決というわけには行きませんが、もしご近所などでお困りの方がいらっしゃいましたら、ご相談下さい。



令和4年度 生活支援センターきまっしー 事業報告

令和4年度は、生活支援員2名と相談支援専門員2名(常勤・非常勤)と管理者1名の体制で行いました。そのうち生活支援員1名は相談支援専門員資格取得のため初任者研修を受講し2月から相談支援業務を行っています。

地域支援・地域交流の活動は、コロナ感染症のため自粛する事が多かった昨年度でしたが、4年度はどうしたら活動ができるかを考え実施しました。「しょうがい者サポーター養成講座」は3回開催。中学生を対象とした講座を宮前区社会福祉協議会のご協力により初めて行う事ができました。また、障がい理解を深める講座「まじわーるdeまなぶ」は、「知的障がいについて」・「障害年金の基本について」・「知的障がい疑似体験」を開催し、いずれもZOOM配信と対面という方法を取りました。2つの方法にすることで参加者も増えてきました。今後も地域の皆様に「障がい」を理解していただけるよう活動していきます。

まじわーるdeまなぶ『知的障がい疑似体験』



第5回 まじわーるde夏まつり